

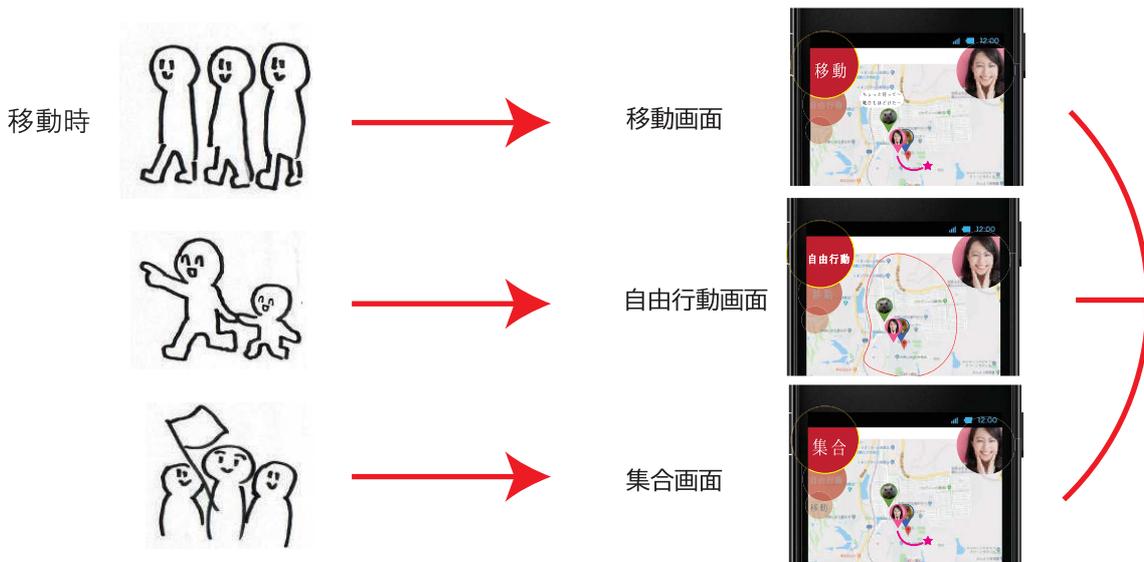


ebeb

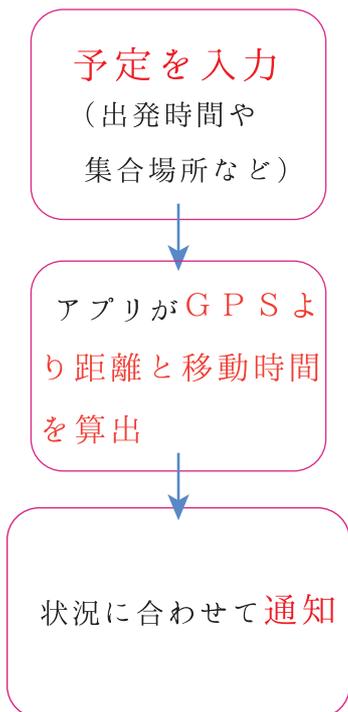
%

{ { =





操作の大まかな流れ



通知例 移動時

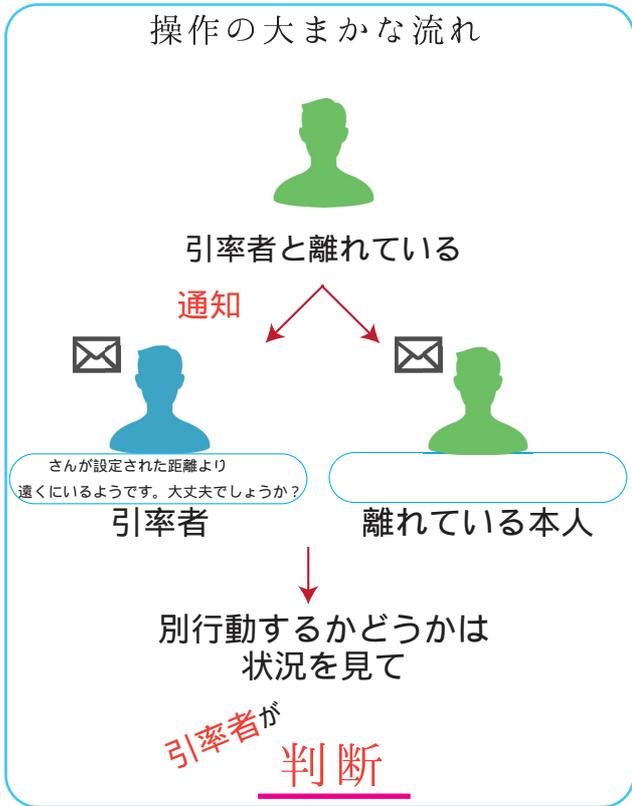
現在地からでは、もうじき移動を開始しないと次の予定に間に合いません。

自由行動

これ以上、先に向かうと集合時間までに集合場所へ戻れなくなる可能性があります。

自由行動（引率者）

他ユーザの位置から集合場所へ向かう所要時間より、集合モードに切り替えることを推奨します。



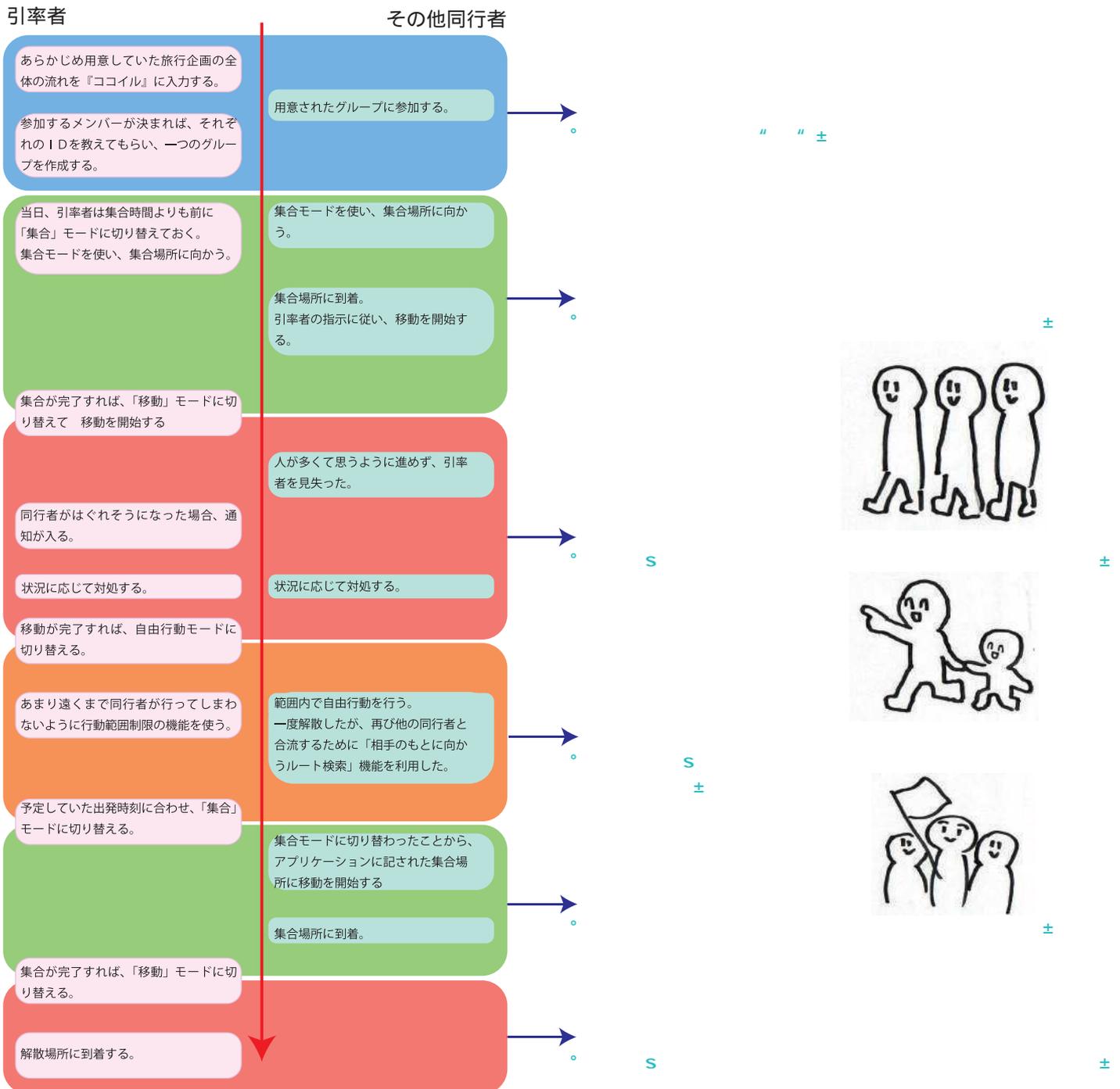
・利用の流れ

下図は、『ココイル』の利用の流れについての例を示した図です。

集合 移動 目的地到着 自由行動 集合 移動 解散

の流れで行動しており、下図のように状況に応じてモードを切り替えて使用します。

その際発生する可能性のあるトラブルは未然に防げるようにサポートします。例では、移動時に同行者がはぐれてしまうトラブルが発生しています。



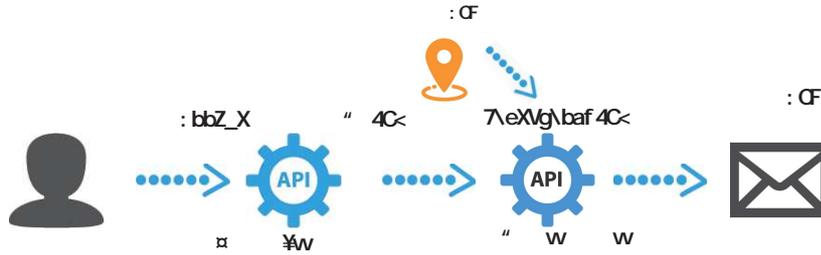
解散後、グループから脱退したユーザは、自分のIDをID更新ボタンを押すことで変更できるようになっています。お出かけ後の位置情報など個人情報流出を防ぎます。

使用言語 PHP javascript
 全機能共通で通知機能は Actions API を
 用いることで実装ができます。

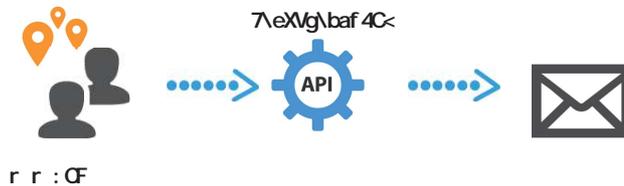
Google カレンダー API を用いて予定の取得と追加を行います。

GPS から取得した緯度から住所への変換は Google Maps API V3 の google.maps.Geocoder クラスの geocode() を使用することで取得できます。

また、ルート、距離、所要時間は Google Maps Platform の Directions API を利用することで、算出することが可能です。



距離を Google Maps Platform の Directions API を利用することで、算出し、GPS から取得した緯度から住所への変換は Google Maps API V3 の google.maps.Geocoder クラスの geocode() を使用することで取得できます。



住所から緯度の変換は Google Maps API V3 の google.maps.Geocoder クラスの geocode() で

範囲の指定は Google Maps API の Polygon、領域内かどうかの判定は containsLocation() で行います。

